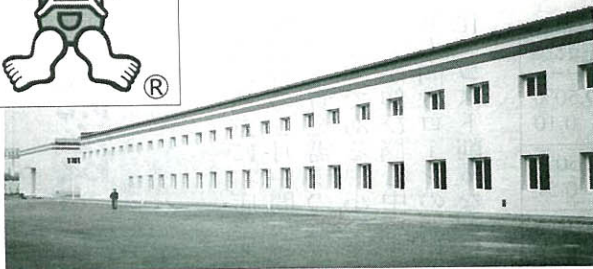


# 台湾の大手、旺旺集団から受注



備南工業に発注した旺旺集団の工場と同集団のトレードマーク



小坂社長

飲料・食品向けポリ容器と充填(てん)機の開発・製造で国内トップの備南工業(株)(福山市新浜町1-2-7、小坂章則社長、資本金1500万円、電084-953-7788、<http://www.e-binan.jp>)

備南工業

## 飲料ポリ容器プラント納入

### 新用途開発などに着手

はこのほど、台湾に本拠地を置く総合食品メーカー、旺旺集団から2億円の受注があり、同集団が中国で新たに新設した4カ所の工場に飲料ポリ容器製造機と充填機を直結させたプラントを計6台納入した。

同集団は年商2500億円の大手中で、夏季の中国における消費拡大の主力商品であるポリ容器に入った飲料に注目し、6年前から備南工業のプラントを導入、今まで8カ所の工場に60台設置し、来年も同社へ2億円規模のプラントを発注している。

同社のプラントは中国のほか、ヨルダンやメキシコ、アメリカ、東南アジアなど約20カ国のメーカーにも輸出され、高い評価を得ているという。

同社は1947年に設立。当初はサイダーやラムネビンの洗浄機を製造していたが、60年代に入り飲料や豆腐などの食品をポリ容器に詰める食品充填機メーカーに移行した。さらに、80年代には食品メー

カーと共同で中央にくびれをつけたポリ飲料容器の通称「チューチュー」を開発、現在のような容器製造機と充填機を直結したプラントを手掛けるようになった。工場は福山市内に3カ所ある。05年12月期の売上高は8億円を見込んでいる。

その一方、同社は少子化による国内の市場縮小を真剣に受け止め、新用途の開発と新たなニーズ掘り起こしに着手。開けやすさと飲みやすさを追求したアイス・豆乳容器や生分解性プラスチック、発泡樹脂容器、及び容器製造機を開発している。

これら同社の意欲的な事業展開が11月23日にテレビ東京の番組「ワールド・ビジネス・サテライト」で紹介された。